

4月25日(水) 本年度 第37回(通算 第2913回)

「家庭集会報告」

担当/ロータリー研修委員会 12:30～ 釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

◆メーカーキャップ

4/21 (PETS)

小林 裕幸君、大友 淳君、本間 弘人君、菊池 美恵子君

4/22 (地区協議会)

小林 裕幸君、石森 將敬君、香川 謹吾君、菊池 美恵子君、北川 健二君、坂入 信行君
迫田 武君、佐々木 隆哉君、泰地 浩幸君、高橋 邦弘君、高橋 哲也君、高橋 貢君
田野 竜之介君、富樫 孝之君、萩原 昭博君、本間 明美君、本間 弘人君、平井 昌弘君
星 耕輔君、宮下 洋介君、安田 正二君、山岸 弘典君、吉田 茂樹君 (以上23名)

4/23 (60周年報告会)

足立 功一君、伊賀 敬司君、石井 東洋彦君、石森 將敬君、伊藤 尚嗣君、大友 淳君
長内 信辰君、小野寺 英夫君、香川 謹吾君、川村 真一君、菊池 美恵子君、北川 健二君
小林 裕幸君、小松 亮次君 (以上14名 その他参加者は次回より順次掲載)

◆出席報告【会員総数79名 免除6名 出席計算に用いた会員数79名】

本日の出席率	出席者名 38名	メーカーキャップ 41名	出席率 100%
前々回の修正出席率	出席者名 41名	メーカーキャップ 5名	出席率 59%

◆ニコニコ献金

- ・本日も宜しくお願いします ～森山 義文君
- ・高橋パスト会長、本日よろしく宜しくお願いします ～鈴木 圭介君
- ・今日も宜しくお願いします ～伊藤 尚嗣君
- ・帯広での地区協議会、参加された皆さん大変お疲れ様でした ～小林 裕幸君、大友 淳君
- ・ケーキありがとうございます ～香川 謹吾君、高橋 邦弘君
- ・結婚記念日、お花ありがとうございます ～福田 雅嘉君

◆会長挨拶 <<森山義文会長>>



昨日は次年度に開催されます60周年実行委員会の中間報告会を開催いたしました、45名という大変多くの会員の皆様方にお集まりいただき、ありがとうございました。委員会の皆様方は大変忙しい中、何度もお集まりいただきようやく周年行事の形が見えてきた段階となりました。本当にご苦勞様ですが次年度も近づいており、開催日の8月25日から逆算するとあまり

余裕がなく、大変忙しいスケジュールとなります。

今後少しでも準備の進行を怠りますと開催に大きな支障をきたすこととなりかねません。どちらにしましても実際に行動していただく若い会員の皆様方はもちろんクラブ会員全員の協力がなくては60周年行事の成功はあり得ません、何卒全会員がロータリアンとして真摯に積極的にご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

本日のプログラムは家庭集会報告です、今年度は4回の家庭集会を実行していただきました、これは近年新入会員が大変多く入会しており、少しでも会員同士のコミュニケーションをとっていただきクラブの活性化などに結び付けようと考えたことでもあります。コミュニケーションをとると一口に申し上げても大変難しいのですがそのためには会話が当然必要です、そうは申し上げても先日の新入歓迎会でもお分かりのようにやはり同じような年齢の方が同じテーブルに集まるような傾向にどうしてもなってしまいます、やはり会話というものは年齢、年代ということも大きな部分であります。

言葉というものは難しいもので“刃物の傷は治るが言葉の傷は治らない”という昔からの言い伝えがあるように言葉というものは一つ間違えますと大変暴力的な力をもちます、最近話題のパワハラ、セクハラもまさに言葉の暴力の部分です。

私共ロータリークラブは大人の社交場とも言われ、会員同士言葉を選び紳士的に会話しコミュニケーションをとることが当たり前前の組織でもあります。入会年数を重ねることで言葉を選び大人としての会話をすることができるということもロータリークラブに入会して学び得られる大変貴重な経験と思われまますので年代を超えた会話が可能になる時間が家庭集会ですのでどうぞ今後も積極的にご参加のほどよろしくお願いいたします。

以上本日の会長挨拶を終わります、ありがとうございました。

◆幹事報告 《鈴木圭介幹事》



1. 次週は、休会となっております。次の例会は、5月9日(水)、青少年委員会担当の「青少年奉仕月間によせて」でございます。昼例会となっておりますので、お間違えのないようお願いいたします。

2. 5月15日にアカデミー塾・5月22日に釧路北ローターアクトクラブへの集団メーキャップを開催します。たくさんのご参加をお願いいたします。

3. 第10回理事会の議事録を会場に備置きしております。

回覧

1. 釧路北ローターアクトクラブ様より5月例会案内が届いておりますので回覧しております。
2. 例会出席予定表を回覧しております。
3. 地区からの飲酒運転撲滅キャンペーン パークゴルフ大会の案内を回覧しております。

◆委員会報告 《アカデミー部門 中嶋嘉昭理事》



昨日ご案内いたしましたアカデミー塾のお願いを致します。事業計画では4月開催となっておりますが、手続きの遅れで5月15日の火曜日、プリンスホテルにて開催となりました。18時に開錠しますので18時半までに食事を済ませて頂ければありがたいです。講師は釧路ロータリークラブの吉田潤司ガバナーノミニーでありますので、是非多くの方に来ていただきたいと思います。テーマは「私とロータリー、これからのロータリー」ということでお話を頂くことになっております。

◆本日のプログラム

「家庭集会報告」

担当 ロータリー研修委員会

ロータリー研修委員会 高橋邦弘委員長



皆さんこんにちは、ロータリー研修委員会の高橋です。今日のプログラムでは家庭集会報告となっておりますけれども、報告となれば本来は委員会報告という事になりますが、まだ1回残っておりまして、報告という事になりませんので、会員の皆さんに家庭集会に参加していただいた事についてお話をさせて頂きたいというふうに考えて、星会員、佐久間会員、田野会員、平井会員という事で4名の方にお話をさせて頂くようお願いをしました。それではトップバッターの星会員よろしくお願いたします。

星耕輔会員



会員の星耕輔です。今回、招集者の長内会員、報告者が阪口会員という事で家庭集会に参加してまいりました。テーマとしましては社会奉仕・会員増強ということで、社会奉仕という事では自分一人で出来るもの、それから社会を通じて出来るものがあると思いますが、自分一人で出来るものに関しましては、やはり基金や募金活動、困っている人に手を差し伸べるといえることが出来ると思います。しかし一人だと出来る活動にも限界があります。自分の職場で出来る奉仕活動として、例えば時間外であっても緊急の患者さんを受け入れる事や私の職業で言えば、お掃除関係で困っている方にいち早く解決してあげるといように、人に優しく思いやりをもって行動することが大事だと思います。その中で私たちはロータリーの活動を続けていると思いたしました。

そのためにはロータリーの事を知ることが大事だという事で、勉強することもその中の一つだと思いました。なぜそう思ったかといいますと、私は今回4回目の家庭集会で初めて足立先生と同じ班になりまして、正直言いますと会話についていけず、質問も出来ずに終わってしまいました。しかし、これをきっかけにロータリーについて学び、しっかり勉強しなければ話にもついていけないと改めて思った家庭集会でした。最後に一つ感銘を受けた言葉がありまして、「ゴミを拾う活動ではなく、ゴミを拾う事をしなくてもゴミの出ない環境を作る事」すなわちゴミをポイ捨てしない人が北ロータリークラブの思いなんだという事を理解することができ、大変有意義な家庭集会でした。以上報告を終わりたいと思います。



佐久間泰弘会員

皆様こんにちは。家庭集会の報告をさせて頂くことになりまして、話すことをまとめてみたのですが、その前に「家庭集会」という事について先輩方から色々説明を頂きましたが再度自分なりに確認をいたしました。

まず家庭集会という言葉でございますが、かつては「炉辺談話」、通称「炉辺会合」と呼ばれていたそうです。現在でも「炉辺会合」という言葉を使用するクラブはいくつかございます。この「炉辺会合」でございますが、1935年に新入会員にロータリー情報を提供するために始められたものであり、その後シカゴRCがこれを取り入れ大きな成果を収めたことから世界的に広まったそうです。また「炉辺会合」は新会員の同化および会員間の親睦と情報交換、そしてロータリーを推進するために会員の自宅、その他少人数が集まって和やかに自由討論する非公式な会合であるとされております。以上のことを踏まえて私なりの言葉でお話をさせていただきます。

まず私は昨年の6月に釧路北RCに入会いたしましたので、家庭集会には今年度開催された3回しか出席しておりませんが、この家庭集会で様々なことを感じる事ができました。

1つ目は、同じ班の皆さんと通常の例会以上に親睦を深めることができたことです。少ない時で5名くらい、多い時で10名くらいの集まりですので、普段なかなか話すことのできない先輩方と食事をしてお酒を飲みながらアットホームな雰囲気の中で、様々なテーマについて話し合うことが私にとっては新鮮で、一方的かもしれませんが皆さんとの距離がグッと縮まったのかなと思っております。

2つ目は「物事を多角的に考える」という事を意識するようになったことです。例えば「会員増強」というテーマに対して、私は知り合いに誰かいないか増やすことばかり考えておりましたが、むやみに人数を増やすのではなく、会員同士の絆の醸成を重視しクラブを活性化していくことが結果的に会員増加につながるのでは？等、先輩方の意見を聞いていると、物事を正面から考えがちところが、一歩下がって全体を見ようと意識するようになりました。

そして3つ目ですが、家庭集会のテーマについて深く話し合うことで、日常の生活から意識をするようになりました。先月の家庭集会のテーマである「社会奉仕」についても、普段から自分に何が出来るのか、バーテンダーとしてお店に立っているときも、バーテンダーの精神が奉仕の活動につながるのか、一人の人間として今までは見て見ぬふりをしていたことも、困った人がいたら「どうしましたか？」「大丈夫ですか？」と声をかけることができるのか等、些細なことかもしれませんが自分

に問いかけ生活するようになりました。

最後になりますが、まだまだロータリアンとして経験の浅い中でお話をさせて頂きましたが、これからの家庭集會も楽しみながら成長していきたいと思ひます。 ありがとうございます。



田野竜之介会員

皆様こんにちは。 家庭集會の報告という事で私が今まで出席した家庭集會で感じたことを話させて頂きたいと思ひます。 まず今年度は3回の家庭集會がございました。 3回ともプリンスホテル5階の錦にて家庭集會が執り行われました。 さすがに3回目のプリンスホテルの錦さんとなると、今日はどんな家庭集會になるのかなという思いよりも、どんな料理が出てくるのかなという思いが強くて非常に楽しみにプリンスホテルに向かったことを記憶してございます。 報告者でもなく招集者でも今回1回も当たらなかったんですけども、全て共通していることは非常にいい家庭集會というのは、和やかで先輩がいて若手いでも年齢差が関係なく、いろんな議論を活発に出来るそんな空間だったと僕は思っております。 非常に親しみやすい空間でありまして、毎回出席したいなと思ひました。 先ほど佐久間会員から話がありましたが、家庭集會の語源は炉辺会合ということと初めて聞かさせていただきました。 札幌東ロータリークラブの先輩と一度お話をさせて頂いたんですけども、家庭集會という言葉ではなくて情報収集会議だという話で、その地域によって名前もまた変わるんだなというふうに思っております。 釧路北ロータリークラブでは家庭集會というネーミングでありますけれども、非常にアットホームであり家庭集會という言葉が合っているのではないかと思っております。 家庭集會の目的はロータリーを知る、他人の意見を聞いてその人の人間味を明確にすると言われておりますが、会員同士の親睦を深める早い道がこの家庭集會ではないかと思っております。 ざっくりばらんにロータリーを知ることもそうですが、僕が一番素晴らしいなと感じていることが、所属している釧路北ロータリークラブの歴史、そして先輩方が新入会員だった頃のお話しなど、非常に良い話や辛い話とかが聞けるといふのも家庭集會の醍醐味の一つではないかと思ひます。 新入会員の皆様は中々そういうふうに、近場で先輩方の会話を聞くことが無いと思うんですけど、是非とも先輩の考え方を知ることが出来る場所だと思ひますので、家庭集會に100%出席を目指して頂きたいと思ひます。 もともと家庭集會は自宅で開催されていたと聞いております。 前回の家庭集會の時は中島会員が自宅でバーベキューをやったと聞きました。 まだ実現はしていませんが、僕が招集者でありましたら是非とも僕の自宅で開催したいなと思っております。 素晴らしいメンバーが僕の家に来て、素晴らしい議論を妻にも見てもらい、活躍している姿を見せたいと思ひています。 以上、僕が思う家庭集會でございました。 ありがとうございます。



平井昌弘会員

皆さんこんにちは。 これまでの3人が素晴らしい話をされて、私が話そうと思っていた事を結構されていたので重複してしまうかも知れませんが宜しくお願いします。

まず佐久間君が家庭集会の歴史について調べてお話しをしておりました。 物事には全て歴史とかどういう根拠で始まったのかとか、なぜ今現在行われているのかという事は、やはり意味があるものだと思うんです。 やはりこういった機会を頂いた折には、ネットでの情報もありますので、是非これを活用してロータリーについて勉強していくのも一つではないかと思っています。 今日はこのような機会を頂いて高橋パスト会長ありがとうございました。 現在に至るまで3回家庭集会が行われました。 いま田野会員からもありました通り、中島会員のところでバーベキューの家庭集会をやった時には、ここにいるメンバーでいきますと招集者が佐々木会員、川村会員も居ましたけれども、自宅で家庭集会をやるということを私も含めてそのような経験がないと思いますので、どんなものなのかと興味があります。 なぜそういうことが無くなったかという事もお聞きしていますので、毎回となると大変なことになるとは思っていますが、そのような期待もありながら中島会員のところで皆さんでバーベキューをやりながら、家庭集会をやりました。 その中でその時のテーマが会員増強と同好会のお話が出ておりました。 同好会につきましては後にご連絡があると思いますが、会員増強については膝を付け合わせてお酒を飲みながら、ワイワイ楽しく活発な意見が出まして実際に「あの人はどうなんだ」「この人はどうなんだ」という話が出て、その場ですぐ電話をしたりという事もあって、その場で勧誘をしたりという事もあったので、それはそれで僕自身楽しかったなというふうに思います。 ですからこういった機会があれば、また是非自宅とか、またバーベキューをやりながらというのも面白いのかなと思いました。

2回目の家庭集会においては、テーマがクラブの活性化と会員増強という事だったんですけど、やはり同好会を通じて積極的な例会をしたいとか、個人的に声掛けをしていくとか、例会内容の充実という意見も出まして、皆さんが言われていた通り、家庭集会というのは通常の例会の厳粛な雰囲気とはまた別の雰囲気の中で、特に僕もそうだったんですが入会当時というのは、ロータリー用語すら分かっていなかったと思うんです。 ガバナーだとかガバナー補佐だとか PETS ってなんだろうとか地区大会ってなんだろうというようなところからスタートした記憶がありまして、そこで通常の例会では聞けないことを、家庭集会の隣り合わせ向かい合わせの中で質問をしたりして学んだことが多々あったと思います。 ですからやはり今後の家庭集会においてはアカデミーの委員長さんもいろいろと割り振りをしていると思うんですが、本当に均等にうまく若手と中堅と重鎮の方とバランス良く組み込んでいただいて、偏りのない中でロータリーの歴史を勉強して、また自分の思った事も普段では緊張して言えないことも家庭集会を通じて、自分からの意見を発することができるので、本当に家庭集会というのは僕らにとって非常に楽しみな会だなというふうに常々思っております。

3回目の家庭集会は社会奉仕と会員増強の話でありましたが、本間弘人会員が招集者でありまして、凄く真面目で硬く素晴らしい家庭集会でありまして、家庭集会なのにアカデミー研修塾の

ような感じでした。ロータリーにおける社会奉仕概念の導入と展開について、決議 23、34 採択だとか、決議 92、286 採択とか、こういった具体的なレジメを本間会員と坂入会員が作って頂いて、これもより具体的な奉仕活動についてとかロータリーについての理念、精神だったりという事が非常に強く響いた家庭集会だったなというふうに感じております。ですから家庭集会というのは各会でテーマが変わってますし、その都度やはり聞いて質問して勉強する部分であったりとか、また自分の意見が凄く斬新で不易流行であったりとか、新しい発見があったりという事も感じているのかなと思ってました。

あと 1 回家庭集会がありますので、是非この機会を無駄にすることなく皆さん是非参加してもらいたいと思います。実は 3 回家庭集会を行って 1 回だけ出れなかったんですけども、初めて他の班に参加した経緯もありますので、自分の班で出れなくても幹事に言えば他の班をしっかりと用意してもらえますので、是非家庭集会にご参加をしてもらえたらと思います。

まだ少々時間がありますので、ロータリーの友で非常に分かりやすい職業奉仕について書いてある部分があります。2014 年の 7 月号なのでちょっと古いんですがご紹介したいと思います。「例会のうえで成り立つロータリーの職業奉仕、私の職業分類は家庭機器配布、田舎の電気屋の親父です。電気屋の親父は商売人ではなく商人でなければいけません。近江商人の三方よし売り手よし、買い手よし、世間よしの教えがある商人です。どんな事業でもそれが世間の役に立っているか、買い手のお客様に喜んで買ってもらえるかを考え、その結果として自分にも利益をもたらされるという考え方が、近江商人の教えです。更に相手に対して気遣い心遣いがなくては商人とは言えません。クラブで職業奉仕の実践で例会に出席できなかったと言われるのを耳にする事がありますが、仕事が忙しい事と職業奉仕の理念とは意味が違います。それを混同している会員が居ます。ロータリーの職業奉仕は例会の上に成り立ちます。以前は自分で自分の時間をコントロールできる人がロータリアンの最低条件と言われていました。どんなに忙しくても自分で例会に行く時間を作り、例会に出席して会員同士切磋琢磨し、例会が終わったらすぐ元の仕事に戻る。それが出来ない人の為にメイクアップがあるので、大いに利用していつも心にロータリーの事を留めておくことです。仕事に精を出すこと、これがロータリーの職業奉仕の原点です。ロータリーの例会は人生道場と言われています。また人づくりの場とも言われています。どんな大きな企業でも人づくりを怠った企業で成功したケースはありません。例会出席を続けない会員は成功しません。人生道場も人づくりもロータリーの例会から生まれます。」

非常にこれは第 2630 地区、岐阜県の会員であると思いますが、なぜ例会に出なければいけないとか、職業奉仕が大事だとかを端的に分かりやすく紹介されておりました。職業を通じて奉仕をしていく、ロータリーがあるから今の自分があるかというような噛み砕いたお話とかも載っております。仕事ありきではありますけれども、やはり例会に出席をして皆さんと顔を合わせて名前を覚えて頂いて楽しく例会を過ごす事が大事かと思います。今日お話を私自身しっかり胸に秘めて明日からまた取り組んでいきたいと思いますので、今後とも宜しく願い致します。どうもありがとうございました。